

## 静岡市立清水病院経営計画（改訂）案に対する市民意見の公募結果について

H29.3 静岡市立清水病院

静岡市立清水病院は、「公立病院改革の推進について（総務省通知）」に基づき、静岡県地域医療構想や清水病院の経営状況を踏まえて、清水病院経営計画の改訂を進めています。

改訂に当たり、市民の皆さんの御意見を公募しましたので、その結果について以下のとおり公表します。

- 1 意見募集期間 平成28年12月27日（火）から平成29年1月25日（水）
- 2 意見提出方法 郵送、ファクシミリ、持参
- 3 意見提出数 (1) 提出人数 9名  
(2) 提出件数 16件
- 4 提出された意見及び市の考え方

1 「清水病院の役割・あり方」について		6件
意見	①公立病院なので黒字を出す必要はないが、市立病院の経営安定なくして、市民（とりわけ清水区民）の健康を守ることはできない。 ②一般会計からの繰入金を早急に縮減して病院機能が維持できなくなることは回避してほしい。	
回答	公共性と事業性を確保し、経営の安定を図っていきます。	
意見	③清水病院は、高度急性期→一般急性期→回復期→在宅復帰を支援する地域に密着した病院として、清水区民に清水病院が存在することの安心感を与える心強い内容であると感じた。 ④清水病院を中心に地域で医療や介護を支援していただけるのはありがたい。 ⑤清水区で総合的な医療を行う唯一病院であり、その役割として「高度急性期医療から一般急性期を中心に回復期を担う」ことは、今後の超高齢化社会を考えたとき、大変心強く思う。 ⑥他の病院や開業医にとって、中核的な役割（地区内のセンター化）を発揮してほしい。	
回答	清水病院は、清水区の基幹病院として、高度急性期から回復期までの一貫した医療を提供しており、これからもその使命を果たしていきます。また、地域の医療機関や介護との連携を図りながら、地域医療の確保に努めていきます。	

2 「医療の充実」について		9件
(1) 「センター化の推進」について		6件
意見	①「センター化の推進」は、概要版においては、説明が省略されているため、意味が伝わりにくい。	
回答	概要版では「センター化」の説明を省略しましたが、内容が分かりにくくなっているため、説明を加筆します。	

意見	②専門的、診療科横断的な医療への対応を図るためセンター化を進めるということに期待している。また、計画に掲げられているセンター以外についても、センター化を検討してほしい。(4件)
回答	センター化を積極的に推進していきます。また、専門医を確保して、計画に掲げられていない他のセンターについても積極的に進めていきます。
意見	③「入退院センター(仮称)」は入退院の手続きがワンストップでできる部署とすれば「専門的、診療科横断的な医療への対応」という点では少し意味が違うのではないか。
回答	入退院センター(仮称)については、考え方は御指摘のとおりですが、患者さんを中心とした医療サービスに資するものであることから、この部分に位置付けています。
(2)「医師の確保」について	
	2件
意見	①充実した医療の提供や安定した病院経営のためには、医療スタッフの確保(特に医師の確保)が重要。「医師の増員」に是非、力を注いでほしい。(2件)
回答	医師の確保が最重要課題であり、特に常勤医が不在となっている診療科を中心に、引き続き医師の確保に努めていきます。
(3)「産科・小児科の充実」について	
	1件
意見	①静岡市は“子育てしやすいまち”を目指しているが、それを市民が肌身で感じるのは、いざ自分に何か起こった時である。そういう意味で、ここに加筆されている「産科、小児科の充実を図る。」という姿勢は高く評価する。
回答	全国的に産科医・小児科医の不足が叫ばれている中で、清水病院は静岡医療圏(静岡市)で産科・小児科が充実した病院の一つです。今後は、個室分娩(LDR)化をはじめ、産科・小児科の更なる充実を目指していきます。

3 その他	
	1件
意見	①市民の信頼回復と、病院で働く職員はその家族がいつでも安心して受診できるような環境を作り、病院職員1人1人が病院をアピールする広報マンになり患者を集めることが大事だと思う。それには、職員の意識改革を実施すべきではないか。
回答	御指摘の件については、13ページの【第一の柱】の⑨研修の充実の中に、「区民に対しての情報発信、また経営などについて、職員の意識の共有化を図ること」を加筆することで対応していきます。